

リビングプレス

Living Press

いや～な虫よサラバ!

ムシムシ暑くなるこの季節の予防&対策

温度、湿度ともに高くなるこれからは、害虫が最も活動的になる季節。できれば遭遇したくないものですが、そんな手ごわい虫も、日々のちょっとした習慣で遠ざけることが可能。これを機に、家の中を総チェックしてみましょう。

Point
1

まずは**予防**が肝心 発生原因を丸ごと取り除こう

言うまでもなく、虫を寄せつけない何よりの予防策は、ふだんから住環境を清潔にしておくこと。忙しい日々の中でも、この季節に活動的になる害虫が好む環境を知ることは、効率的な対策を行ううえで大きなヒントとなります。以下のチェック項目を確認し、生活習慣に取り入れてみましょう。

- CHECK**
- 生ゴミ・食べ終わった食器を放置しない
 - ジュースや酒が残った空き缶、空き瓶を放置しない

コバエは生ゴミなどの臭いに引き寄せられる

少量であっても生ゴミや食べ物を放置せず、清潔に保つことが大切。食品トレーに食べ物の汁が残ったまま捨てたり、ジュースやビールの空き缶をゆすがずに捨てたりするのも厳禁。必ず水で洗い流してから捨て、匂いが気になる場合はビニールを二重にするなどし、ゴミ箱の蓋をしっかりとめましょう。



- CHECK**
- シンクの水滴を残さない
 - 冷蔵庫裏やシンク下、ガス台下を不潔にしない
 - 押入れなどで長期間ダンボールに収納しない

ジメジメ&暗くて温かい場所は要注意

湿気がたまりやすい押入れや、特に冷蔵庫の裏、シンク下、ガス台下といった、電源や温水などで温くなった場所はゴキブリが好む環境。食ベカスや埃がたまっていないか確認し、整頓を。また、ダンボールは湿気を含みやすいので、長期収納には不向きです。



シンク下に小麦粉などの乾物類を置くと、ダニの繁殖にもつながるので避ける。

- CHECK**
- ベランダや庭のバケツや空き缶、鉢の受け皿などに水をためたままない

水たまりにボウフラが大量発生

蚊の幼虫のボウフラが発生しないよう、雨後は庭やベランダに水たまりができていないかをチェックしましょう。



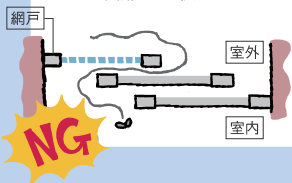
Point
2

侵入経路を塞いで 寄せない、増やさない

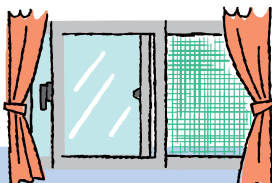
小さな侵入者は玄関・窓から堂々と入ってくる

コバエや蚊などの小さな害虫は、玄関を開けた瞬間に入ってくるケースや、干していた洗濯物について入ってくるケースが多いため、服や洗濯物を外で払うようにしましょう。

また、換気時の窓の開閉には、網戸の設置位置に注意が必要です。引き違い窓の場合、部屋の中から見て右の窓は室内側に、左の窓は室外側にあります。網戸を右側に設置して右(室内)側の窓で開閉すれば、窓と網戸のすき間が少なくなり、窓を半開きの状態にしても虫が侵入しにくくなります。

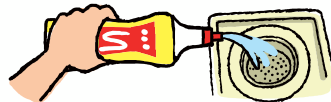


窓の開閉は右(室内)側で。ただし、網戸を左側に設置した状態で左(室外)側の窓を全開にするのであれば、すき間が少なくなるのでOK。



排水溝はねばり強い対策が肝心

清潔にしているつもりでも、悪臭や虫が発生しやすい排水溝。キッチンの排水溝のふたやゴミ受けは、台所用洗剤をつけたスポンジで毎日洗い清潔に。風呂の排水溝は都度、ゴミキャッチャーについた髪の毛やゴミを取り除き、定期的に塩素系漂白剤で掃除するといいでしょ。風呂に発生しやすいコバエは、熱に弱く水に溺れやすい性質が。浴槽下の隙間や排水溝に70度くらいの湯をしばらく注ぐだけでも効果的です。



Column

照明器具やカーテンの見直しで虫を寄せ付けない

虫は紫外線に集まる傾向が。紫外線を発する蛍光灯は虫をおびき寄せてしまうため、紫外線を発さないLED電球に変えるのも手です。

また、特に夜の室内の灯りを外にももらさないように遮光カーテンに変えるのも得策です。

